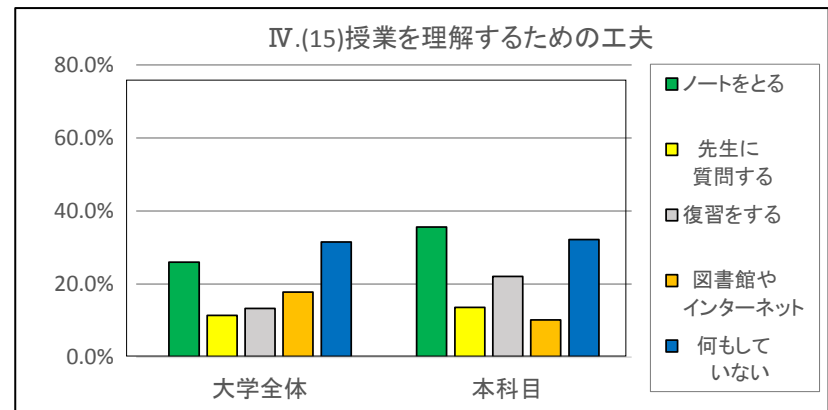


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15)授業を理解するための工夫	35.6%	13.6%	22.0%	10.2%	32.2%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.34	3.45
	I.(2)	3.49	3.56
	I.(3)	2.73	3.07
講義内容・方法	II.(4)	2.80	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.41	3.33
	II.(8)	3.51	3.42
	II.(9)	3.56	3.30
	II.(10)	3.61	3.23
	II.(11)	3.19	3.21
	II.(12)	3.58	3.48
	II.(13)	3.58	3.45
満足度	II.(14)	3.56	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.19	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.40	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.56	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	12105
科目名	数の理解
教員名	金山 憲正

①授業計画の達成度について

教科の特性上得意と感じる学生と苦手と感じる学生とが分かれる傾向にあると思われるので、講義内容については事前に個人開設のHPを利用して15回分を知らせておいた。毎回知らせた内容に沿って授業を展開し、各授業のまとめの時間では講義内容のまとめの小テストを実施することにより各時間のねらいを達成することが出来たと考えている。

なお、第3週目に行った授業アンケートで内容が難しいと答えた学生に対しては、教職を旨とするものにとって身に付けなければならない必要最小限の内容に絞って授業を進めていることを伝え、HPに参考資料や解説を掲載してあるのでそれを活用して予習・復習に力を入れるようには指導した。

②授業の進め方について

事前に講義のレジメ・プレゼン・小テストの概要など授業で用いる資料の全てを個人開設のHPで公開し、それを基に予習・復習が可能になるような環境を整えておいた。また、どこでもHPを閲覧することができるようにスマートフォンにも対応したHPも作成しておいた。そのためか、殆どの学生はHPに掲載してある授業で用いるプレゼン資料をプリントアウトしてきておりそれに講義内容を書き込みながら授業に取り組んでいた。これは、各自が後から授業を振り返る際にも有効に活用できているように思われた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

苦手意識を持ちながら授業に臨んでいる学生が半数以上いる状態であるのでアンケート結果ではほぼ当初の目的を達成したのではないと思われる。しかし、「授業を理解するための工夫」で「何もしていない」という回答が多いことが残念である。この点に関してHPに掲載してある内容と活用の仕方をより分かりやすく説明していく必要があると感じた。

大教室のためマイクを使用していたがそれがかえって聞き取りにくいことになっているように思えるので、できるだけ肉声で講義をしたい。